

# 図書館 だより

No.325

発行・編集：市立飯山図書館  
長野県飯山市大字飯山 1421 番地  
電話・FAX：0269-62-1118  
URL：http://tosho.city.iiyama.nagano.jp  
2006年(平成18年)4月15日発行

### 開館時間と休館日

〈開館時間〉火～金 9:30～18:00  
土・日 9:30～17:00

〈定休日〉月曜日・祝祭日・年末年始

### 休館日カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
4月	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
5月	30	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20

■の日は休館です。

らいぶらりいブックレビュー  
こんなものもあります  
旬の本・話題の本・意外な本



こんにちは  
おてがみです

(福音館書店)

「こどものとも」50周年記念出版のこの本には、みんなの大好きな絵本の主人公からのおてがみがいっています。この本をより楽しむために、登場人物の絵本を読んでおくことをおすすめします。

## この春、新たな一歩を踏み出した フレッシュなあなたに

進学、進級、就職など、多くの方がこれまでとは違った新たな一歩を踏み出した春。そんなフレッシュな皆さんにおすすめの本を紹介いたします。

### よみもの

**東京タワー**  
オカンとボクと、時々、オトン  
リリー・フランキー著  
(扶桑社刊)



母親、家族・・・普遍的なテーマをユーモアを交え、熱くリアルに描いた感動小説。近くテレビドラマ化。

### 県庁の星

桂望実 著 (小学館刊)  
役人根性全開の県庁のエリートが、ど田舎のスーパリーにやって来た。頭の固い「県庁さん」、はたして民間企業でやっていくことはできるのか？痛快！公務員エンターテインメント。

### 東京奇譚集

村上春樹 著 (新潮社刊)  
五つの短編小説。不思議で、妖しく、ありそうになっている話。しかし近くで起こっているかもしれない物語。

### その日のまにに

重松清 著 (文藝春秋刊)



昨日までの幸せな生活が、愛するひとの死によって不意に断ち切られる...。生と死と幸せの意味を見つめる連作短編集。

### 新書

さおだけ屋はなぜ潰れないのか？  
身近な疑問からはじめる会計学

山田真哉 著 (光文社新書)  
決して易しいものでない「会計」の本質を、「身近な疑問」から考えていく。最後まで気楽に読める一冊。

### 国家の品格

藤原正彦 著 (新潮社新書)  
日本は世界で唯一「情緒」と形の文明。しかしこの素晴らしさは長らく忘れられてきたのではないか。すべての日本人に、誇りと自信を与える提言。

### 頭がいい人、悪い人の話し方

樋口 裕一 著 (PHP新書)  
何気ない会話に、その人の知性が現れる。社会に出れば話し方ひとつで、仕事ができるかどうか判断され

### ビジネス

プロ論。  
仕事、好きですか？  
Biz.編集部編 (徳間書店)

やりたい仕事が見つからないとき、働くのがイヤになったとき...。カルロス・ゴーン、横山秀夫、ほか、「真のプロ」が仕事の悩みを解消。

### 仕事常識

新・オトナの学校

日本経済新聞 編/刊  
茶髪の基準、宴会の開き方、ビジネスマナーの落とし穴、セクハラを防ぐ方法など。授業では、たぶん教えてくれない明るく豊かに働くための48講座。

## 新着図書案内

### よみもの

空は、今日も、青いか？石田 衣良  
オーフの条件 林 真理子  
美輪明宏のおしゃれ図鑑美輪 明宏  
世間のドクダミ 群 よう子  
ニッポンを解剖する養老 孟司  
星を数えて アーモンド  
哀しみの終着駅 赤川 次郎  
沖で待つ 糸山 秋子  
終末のフール 伊坂幸太郎  
宙ぶらん 伊集院 静  
べっぴんちごく 岩井志麻子  
無事、これ名馬 宇江佐真理  
むこうだんばら亭 乙川優二郎  
陰日向に咲く 劇団ひとり  
きいろいゾウ 西 加奈子  
今夜は心だけ抱いて唯川 恵  
ドリームバスター3 宮部みゆき  
弥勒の月 あさのあつこ  
少年は探偵を夢見る若辺 拓  
超パカの壁 養老 孟司  
もう一度働く！ 小島 豊子  
天職の見つけ方 浜口 直太  
防犯まちづくり 山本 俊哉  
いのちとユーモア 鎌田 實  
認知症介護の基本長嶋 紀一  
ボケない脳をつくる篠原 菊紀  
アンティーク振袖 岡 勝美  
和紙とケータイ 共同通信社  
笑点 日本テレビ  
私一人 大竹しのぶ  
父の遺言 いかりや浩一

## ～シリーズ～ わたしの「おすすめの本」を紹介します

◇今月のおすすめ◇

木島地区  
伊賀恵里紗さんと佐藤伶奈さん  
◎この春、小学3年生になった  
仲良しコンビに紹介していただきました。



伊賀恵里紗さん(右)と佐藤伶奈さん(左)

## バムとケロのそらのたび

木島小学校

伊賀 恵里紗

バムとケロは『バムとケロのそらのたび』と『バムとケロのさむいあさ』と『バムとケロのにちようび』があります。どれも楽しいお話だけど、わたしは、『バムとケロのそらのたび』がおすすめです。お話の中で、バムがおきてそ



とにでてみると、いっぱいのもつがとどいていました。その中におてがみが入っていました。そのおてがみをひらいて、見てみると、こんなおてがみでした。おじいちゃんからです。「こんどの日よう日は、わしのたん生日なので、バムとケロちゃんであそびにおいで。」というおてがみからはじまるものがたりです。

学校図書館で見つけた本を紹介してくれました

## 幽霊教室のミステリー

木島小学校

佐藤 伶奈

この本の中のいちぶのお話で、ある女の子がマンションを大切に思う気持ちが書いてあります。

むかし、マンションにすんでいるお母さんと子どもがいました。その朝、おるす番をしていたらドアをたたく音がしました。その子は、かみ

児童文学者協会

編 (偕成社)

が長くてかわいい女の子でした。話そうしたら電話がなりました。お母さんだと思っておてがみが入りました。話がおわつたら女の子はいますか？と聞きました。その朝、子どものへやに女の子がいました。子どもは、その子にお茶をもつてきました。そうしたら、もうその女の子はいませんでした。子どもはふしぎだと思ってお母さんに聞いてみました。

「あの子は前、このマンションにすんでいて、じこでしんじやったんだよ。だからこのマンションがこわれてないかたしかめに來るんだよ。」とお母さんが話してくれました。

とてもかなしいお話ですが、女の子はマンションをすこくだいじにしてゐると思ひました。

日曜日 10時30分から図書館3階たみのへやへ親子でどうぞ！

◆◆◆おしらせ◆◆◆4月から、おはなしひろばは、どなたでも参加できるようになりました。